

最新 Fintech⁺ (24)

三根 公博

日韓の回転ドアをめざして

5月に続いて海外の話題となるが、韓国のお話をさせていただきたい。

先日の5月27日、韓国ソウルにて、現地のFinTech/Web3スタートアップを中心とする企業関係者向けに講演の機会をいただいた。テーマは、日本の暗号資産交換業やステーブルコイン、ペイメントビジネスなどに代表されるFinTech/Web3ビジネス、およびそれらに対する規制の現状、韓国を中心とした海外企業が日本に進出する際の留意点であった。

現地ではモバイル、セキュリティのテクノロジーが非常に進んでおり、それらを日本のアニメ、マンガを代表とするIP（知的財産）資産とつなぎ合わせて、何らかのビジネスにならないか、などの話を参加者として行うことができた。好評だったため、パートナー契約を結んでいるIT・スタートアップに強いソウルのDLG法律事務所とともに、今後は8月の東京を皮切りに、韓国・大阪・韓国・福岡という順番で、日韓相互に継続開催していく予定である。

ソウルでの講演は、ソウルの江南で行った。江南は「カンナムスタイル」などで日本でも知られているが、ソウルを東西に貫く漢江の南側に位置し、比較的新しく開発された。日本人におなじみの明洞などに比べて、近代的なビルが数多く立ち並ぶ地域である。若者の注目が高

い、流行りのカフェも多く、ソウルで一番人気のクラブは江南にある。

江南には、数年前に日本でも大ヒットしたドラマ「ウ・ヨンウ弁護士は天才肌」の、ウ・ヨンウ弁護士が勤務している法律事務所ハンパダが入居しているビルもある。ドラマに出てくる回転ドアもちゃんと回っていた＝写真。



米中関係が微妙な現在、東アジアにおける日本の重要なパートナーとして、韓国の存在感はますます増している。ベトナムのオフショア開発IT企業関係者と話しても、日本と韓国双方を視野に入れた戦略を取る企業は多い。

3日に投開票された韓国大統領選では、革新（進歩）系「共に民主党」の李在明候補が当選し、4日に大統領に就任した。3年ぶりに保守系から革新系への政権が交代した。李大統領は、外交政策では国益を最優先する「実用主義」を掲げ、各国と良

好な関係を構築する姿勢を取る。日韓関係についても「合理的な関係になればいい」と表明している。

折しも、今年の22日に、韓国との国交正常化60周年を迎える。それに伴い、1日から30日までの期間、日韓双方における入国手続の円滑化措置が実施されるなど、様々なイベントが予定されている。それらに交じって、日韓交流を少しでも活発にさせていければと思う。

個人的には、自分の故郷が佐賀なので、福岡を日韓交流の拠点として本格化させていくことができれば、非常に嬉しい。現在は、釜山・福岡の高速連絡船は休航しているが、最も近い隣国であり、お箸とご飯の国である。交流がないのがむしろ不自然に思う。

今後、このプロジェクトが発展することで、日本から韓国へ、韓国から日本へ、と、回転ドアを通るウ・ヨンウが成長するのを見守るように、回転ドアのそばで、あのドラマでイ・ジュノが口ずさんだズン・チャッチャ♪ズン・チャッチャ♪のメロディと共に、戸惑う誰かの手をそっと引く存在でありたい。

ウ・ヨンウの父親が、日本から伝わった巻きずしが韓国料理として根付いたキンパ屋を営み、その店でウ・ヨンウを育てた。同様に、日韓の協力で両国の次代を担う若者を育成していければと願っている。